



## 地域主体で防災を学ぶ 日本赤十字社による 防災セミナーを開催

11月30日（日）関川地区ふれあいセンターで、日本赤十字社を講師に招いた防災セミナーが開催されました。井関地区の区長を中心に地域が主体となって企画され、地区住民の皆さんのが参加しました。

当日は、災害時の心構えや家庭ができる防災対策について具体例を交えた説明が行われ、参加者からは「日頃の備えの大切さを改めて感じた」との声が聞かれました。また、あわせて石岡警察署による防犯に関するセミナーも行われ、地域での見守りの重要性が紹介されました。



▲日本赤十字社の講師から防災についての説明を受ける参加者の皆さん。



▲被爆体験を伝える講師の話に、真剣に耳を傾ける府中中学校2年生の生徒たち。

## 災害警備体制の強化へ 石岡警察署が民間事業者2社と 施設使用協定を締結

石岡警察署は、大規模災害発生時の警備体制強化を目的に、有限会社昭和自動車および東京電力パワーグリッド株式会社土浦支社と、施設使用に関する協定を締結しました。昭和自動車の施設駐車場は、警察災害派遣部隊の活動拠点として、東京電力パワーグリッド土浦支社石岡事務所の一部は、代替警察施設として使用されます。これにより、発災以降、円滑な災害警備活動が可能となります。石岡警察署では、今後も関係機関と連携し、地域の安全確保に取り組んでいきます。

## 戦争と被爆の記憶を聞く特別授業 府中中学校など市内全中学校で 平和学習を実施

12月9日（火）府中中学校で「被爆体験伝承者等派遣事業 講話～平和について考える～」が行われ、広島県から被爆体験を伝える講師を招きました。府中中学校の2年生は対面で、市内4中学校（石岡中・国府中・園部中・八郷中）の2年生はオンラインで参加し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて学びました。生徒からは「原爆の恐ろしさを改めて知った」「平和の大切さを実感した」といった感想が寄せられました。

市では、今後も平和について考える学習の機会づくりを進めていきます。



▲【写真左】左から石岡警察署 岡崎署長と有限会社昭和自動車 岡野代表取締役。【写真右】左から石岡警察署 岡崎署長と東京電力パワーグリッド株式会社土浦支社 前田支社長。



## ふるさと学習から未来を考える 小中学生交流の集い 「石岡市子ども会議」

11月25日（火）八郷総合支所で小中学生交流の集い「石岡市子ども会議」が開催されました。

「ふるさと学習から学び、市へ提言したいこと」をテーマに、市内各校の代表がプレゼンテーションを行い、市内全中学生はオンラインで参加しました。

市への提言発表では、市内5つの中学校と石岡第二高等学校が、石岡市への提言として6つのアイディアを発表。市職員との対話を通して生徒たちは石岡市の取り組みや魅力、課題について理解を深めました。



▲石岡市の未来について意見を発表する生徒たち。



▲左から松永実行委員長・立浪親方（元小結 旭豊）・谷島市長。大相撲石岡場所では、多くの来場者が期待されます。

## 市制施行20周年を祝う春巡業 大相撲石岡場所開催に向け 市長を表敬訪問

4月20日（月）に茨城電設スポーツアリーナ石岡で開催される「石岡市市制施行20周年記念 令和8年度春巡業 大相撲石岡場所」に向け、大相撲石岡場所実行委員会の皆さんと谷島市長が表敬訪問しました。当日は、谷島市長のほか、日本相撲協会の立浪親方（元小結 旭豊）、大相撲石岡場所実行委員会の松永実行委員長が出席し、開催への意気込みや準備状況について報告が行われました。谷島市長は「我が国の伝統文化を象徴する大相撲の巡業を本市で開催いただければ、市民にとって大きな栄誉です」と話しました。



▲多様な働き方について話を聞く石岡中学校1年生の生徒たち。

## 将来を考える出前授業 石岡中学校で 男女共同参画出前講座を実施

12月17日（水）石岡中学校で、1年生を対象に男女共同参画出前講座「将来について考える～自分らしい職業につくために～」が開催されました。

当日は、茨城県ダイバーシティ推進センター「ぱらりす」の講演のほか、市内企業や地域で活躍するゲストの方々から、多様な働き方や職業についての話がありました。生徒たちは、性別にとらわれない進路選択について理解を深め、自分らしい将来を考える機会となりました。